

8-4-28 参加型計画専門委員会

1. 主な活動の記録

本専門委員会は、公共事業における市民参加のあり方と建設コンサルタントの対応検討を目的として、平成17年より活動をしている。

(1) 委員会の開催

令和4年度の活動は、専門委員会を10回開催、講習会1回、勉強会2回開催、事例調査を兼ねた勉強会を1回実施した。主な活動は、下表の通りである。

表1 専門委員会の開催と主要活動状況

回数	日付	活動項目
1	4/12	年度計画の設定とWG取組み内容
2	5/17	勉強会・講習会の開催方針
3	6/14	ICT勉強会の実施計画等
4	7/12	勉強会・事例調査の内容確認
5	8/9	9月・10月勉強会の実施計画
6	9/6	講習会の実施内容の検討
-	9/28	施設運営等に関する勉強会
7	10/13	講習会の実施計画の素案検討
-	10/18	新たな資金調達に関する勉強会
8	11/8	講習会の実施計画の検討
-	11/16	ICTを活用した手法勉強会
9	12/6	勉強会報告・講習会資料確認
10	1/17	講習会の最終確認
-	1/17	専門委員会講習会の開催
-	3/1	幹事会：次年度の活動について

(2) 活動概要

多様化する社会変化に対応する市民参加型計画の対応を検討するため、地域組織主体のまちづくり運営の事例調査、新たなまちづくり活動の資金調達に関する事例調査、オンラインツールを活用した参加型計画手法の試行等の取り組みを行った。それらの成果をとりまとめて講習会を開催した。また、ホームページを活用

した広報活動を積極的に実施し、講習会開催告知や関連情報の発信などを行った。ホームページの閲覧者は55,000ビューを越えた。

勉強会、講習会等の個別活動内容は、以下の通りである。

a) 施設運営・エリアマネジメント等に関する勉強会（9月）

市民や地元組織が参加して継続的に地域づくりに取り組む出石市まちづくり公社の活動を評価し、公社との意見交換を通じて、新たなまちづくりの運営の可能性を検討した。

b) 事例調査を兼ねた新たな資金調達に関する勉強会（10月）

新たな資金調達に関して、前橋市のまちづくりSIB（ソーシャル・インパクト・ボンド）の現地視察及び意見交換を行い、その内容及び市民の関わりについて調査を行った。

c) ICTを活用した参加型手法に関する勉強会（11月）

参加型オンラインツールの「Decidim」について、建設コンサルタント業務での活用可能性を検討するため、同ツールを試行し、その手法に精通する東健二郎氏（コード・フォー・ジャパン）との勉強会を開催し、意見交換を行った。

d) 参加型計画専門委員会講習会（1月）

勉強会の成果を紹介するとともに、都市・地域づくり分野におけるSIBを活用した取り組みについて、塚本一郎氏（明治大学経営学部教授）に講演をいただき、これからのまちづくりに関して、参加型計画の方向と建設コンサルタントに求められる役割等について意見交換を行った。Web方式で開催し約100名が参加した。

2. 次年度の活動について

新たな都市・地域づくりに関する参加のあり方や、建設コンサルタントの役割、対応すべき参加型技術や連携技術等について、外部との勉強会も開催しながら検討する予定である。

（参加型計画専門委員会委員長 伊藤 将司）